

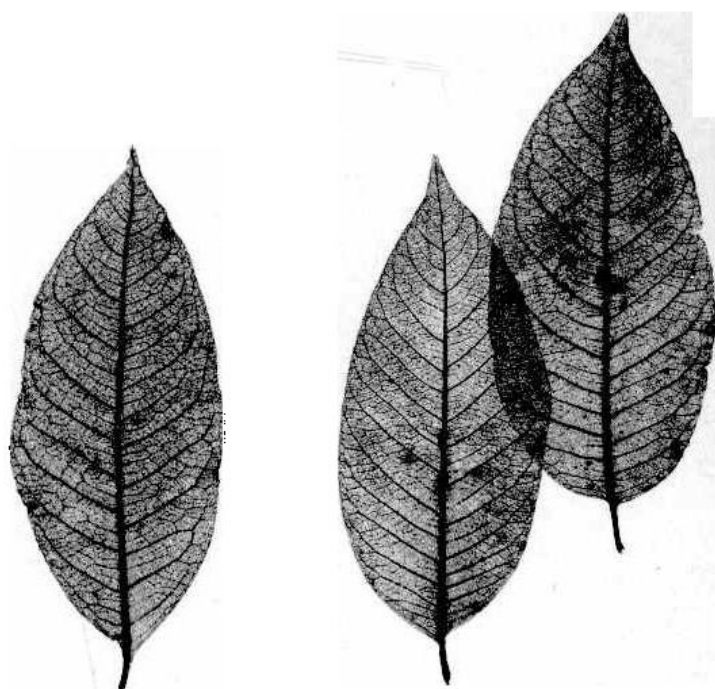
森 浩美

Hironori Mori

叱られ

上手に

なりなさい



しか じょうず
叱られ上手になりなさい
もり ひろみ
森 浩美

2006年 1 月15日 初版 1 刷発行

発行者—古谷俊勝
印刷所—豊国印刷
製本所—榎本製本
発行所—株式会社光文社

〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6

電話 編集部(03)5395-8282

販売部(03)5395-8114

業務部(03)5395-8125

©hiromi MORI 2006

落丁本・乱丁本は業務部でお取替えいたします。

ISBN4-334-78405-4 Printed in Japan

〔R〕本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

叱られ上手になりなさい

森 浩美

この作品は知恵の森文庫のために書下ろされました。

目 次

第1章 恋愛パンチドランカー

恋愛に癒されるわけがない 13

20代だからこそできる、おバカな恋愛 16

トキメキという名の鼓動 18

手に入らなかったものは特別な存在になる 21

三十路過ぎの恋愛 23

君に出会いなどない 25

君らごときが 28

ささやかなやすらぎなんてゴロゴロしている 30

激しく愛されなくてもいいじゃない 32

君はドラマのヒロインじゃない 34

ストライクゾーンもわからないのに、バッテリーボックスに入るな 37

その男性は本物か 39

家庭に癒されるわけがない 41

第2章 化粧をする猿

目立ちたい、という心の深層には「目立たない自分」が潜んでいる 45
化粧をする猿 47

恋愛もファッションも美男美女のためにある 49

コンプレックスを埋めるために、「お洒落」という形容詞を連発する 51

センスをアピールするブサイク 53

エセセレブ 54

「美しい歳のとり方」なんてない 56

「ブスだから」とか「もう歳だから」とあきらめた時点で救いようがなくなる 58

美人は美人で崖っぷち 60

第3章 結局自分じゃ何にもやらない「したいしたい病」

「したいしたい病」の怪 65

「どうせ」だから病」の辛気臭さ 68

下手な鉄砲数打ちや当たる 70

どうせなら、誰も真似できないようなすごい自慢を見せなさい 73

「褒められたい」と「認められたい」は違う 75

チヤホヤなんてされるわけがない 77

君が自分を語るな 79

第4章 日本全国総スパイ

日本全国総スパイ 85

私様帝国の女たち 87

しあわせは足し算で、不幸は掛け算で 89

滅びるものは何をやっても滅びる 92

来世貯金 96

ごくつぶし願望 98

常識人とは、自分なりの意見をまとめる作業ができる人間のこと

ゆるい人間 162

上手な時間の使い方 164

「私」を貫いていいのは、王様級の人間だけ 168

ちゃんと大人になりなさい 170

ちよつと長めのあとがき 172

企画・構成／葉月けめこ

人間関係におけるキーワードはただひとつ、「気遣い」 102

第5章 ほとんどの人間が「めくそはなくそ」状態でひしめき合っているのが現実社会だ

ほとんどの人間が「めくそはなくそ」状態でひしめき合っているのが現実社会だ 107

勝ち組と負け組の比率は50・50じゃない 109

闘ってもいないのに、勝った負けたと騒ぐな 113

君はペントハウスには住めない 116

「やればできる子」で、一生を終えればいい 118

だいたい人間なんて、マイナスポイントのほうが多いもの 120

「ガンバレ本」を当てにするのはやめなさい 122

「プロセスが大事」なんて、ただの逃げ 125

成功の目利き 127

第6章 世の中バカが多すぎる

「好き」と「得意」は違う 131

樂をしたいバカ 133

未熟者たちに告ぐ 135

「私は世界」って顔をすんな 138

ギロチンの刑 140

未熟者ほど身綺麗に 143

人は一氣に成長する 145

権力者たちの思う壺 147

第7章 僕たちが実体験できるのは「今」だけ

すべてが妥協の産物である 153

女は子宮で考えない 156

君は明日も変わらない 160

第一章 恋愛パンチドランカー

恋愛に癒されるわけがない

「恋に癒されたい」と本気で思っているバカな大人がいる。

言っておくけど、恋愛では癒したり癒されたりできない。

というか、人間同士の関わりによって癒されようと思えること自体、無理。人と人が接すれば、必ず摩擦は生じるんだから。

もちろん「恋をして、今私すごく幸せ」という人もいるにはいるだろうが、そんなものはじめのうちだけ。

ほとんどの人たちは、相手の心が見えない切なさや、会えない寂しさに苦悩しているもの。

今頃あの人は何をしているんだろう？

と、日常の中でふと考えることは楽しくもあるだろうが、それはそれでつらい時間でも

ある。

お互い忙しかったり遠距離恋愛だったりして、思うように会うことができなくなればその分「会いたい」という気持ちが募るし。だんだん自分の気持ちをコントロールできなくなってくる。

すると、楽しかったはずの恋がいつのまにか「障害」や「ストレス」という自分を苦しめるだけの存在に変わり、次は恋の相手に「トキメキ」よりも「癒し」を求めるようになる。

彼にもっとやさしくしてもらいたい。

会いたい時に会える恋人が欲しい。

この望みが叶う相手を見つけるとどうなるか。

自分の言うことを何でも聞いてくれる、呼べばすぐに駆けつけてくれる男性と付き合ってみればみただ、「物足りない」などと不平不満を並べたてる。

こんな勝手なこと言うのが現代女性。

男性側にしてみれば「コキやがって!」という感じじゃない?

そもそも非の打ち所のないほどやさしい相手に出会えることなんて、普通は考えられない。

仮に巡り会ったとしても、自分と合うかどうかということが重要ポイントなわけで。

人間なんて所詮は今自分が置かれている状況によって、癒されたい方向が左右されるんだから、一概にやさしいといえるものでもないんだな。

極端な話をすれば、ムチで打たれることによって癒される人だっているのが世の中ってもんだ。ようするにバランス。

もしかすると人はストレスを求めて恋愛をしているんじゃないの？ とさえ僕は思う。なにしろ障害があった方が燃えるのが恋なんだから。